



スマート農業ドローンによる薬剤散布

町政を問う!

一般質問



ひがしがき のり お
東垣 典雄 議員

2025年農林業センサスで自営農業を主な仕事とする「基幹的農業従事者」は前回2020年調査と比べ全国で25.1%減少

**基幹的農業従事者27%減少、農地の荒廃が!!
荒廃農地化が進まないよう取り組みます**

とのこと。本町の現状は。

町長 本町の「基幹的

農業従事者」は2020年531人から2025年389人へと27%減少しています。

農地の集約は経営耕地面積2020年の481haから420haの13%の減少にとどまっています。

「基幹的農業従事者」は

減少し耕作面積の減少が少ないのは担い手への農地の集約がすすんだ結果です。

耕作条件のいい農地の集約はすすみますが中山間の農地は担い手がなく稲作をしていない集落があるのが現状である。

中山間地の農地についても農地中間管理機構(農



地バンクの活用での集約と「中山間地域直接支払」など制度の活用を。

町長

その地域の農地の活用について今の制度の仕組みのなかでは集落ごとの意欲が大きく影響します。集落での話し合いによる制度の活用で農地の荒廃がすすまないよう取り組みます。

12月定例会での一般質問は13人の議員が町政全般について質問を行いました。

一般質問は、議員が町政全般について執行状況や将来に対する考え方などを町長や教育長に問うものです。

議員一人当たりの持ち時間は、町長の答弁を除き30分以内と決められています。

内容については、議員本人が執筆(要約)したものを掲載しています。

(※QRコードでそれぞれの様子を視聴できます。)